

- | | | | |
|---------|---------------|------------|---------|
| (1) 遺伝学 | (2) 遺伝子 | (3) ゲノム | (4) 植物 |
| (5) 進化 | (6) エピジェネティクス | (7) 自家不和合性 | (8) 優劣性 |

下欄には、交付申請書に記載した「研究の目的」の達成度について、以下の区分により自己点検による評価を行い、その理由を簡潔に記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

＜区分＞①当初の計画以上に進展している。 ②おおむね順調に進展している。 ③やや遅れている。 ④遅れている。

(理由) 次世代シーケンサーを用いた網羅的解析により、項目 1 に関わる低分子 RNA 候補、項目 2 に関わる花粉因子 SLFs 候補を計画通り多数同定することに成功した。

本研究課題の今後の推進方策について簡潔に記述すること。研究計画の変更あるいは研究を遂行する上での問題点があれば、その対応策なども記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

低分子 RNA 候補に関しては、本機構の普遍性解明に向けて優劣性制御への関与を検証すること、花粉因子 SLFs に関しては本遺伝子群の進化の道筋の解明に向けて全 cDNA 配列を取得し進化系統樹を作成すること、が次の目標となる。優劣性制御機構の解明を加速するには、モデル植物のシロイヌナズナで本現象を再現することが必要であり、次年度内での系の確立を目指す。

※ 「13. 研究発表」欄及び「14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄において記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合は、左端を糊付けすること。

著 者 名		論 文 標 題						
Tarutani, Y.		Monoallelic gene expression and its mechanisms						
雑 誌 名		査読の有無	巻	発 行 年				最初と最後の頁
Current Opinion in Plant Biology		有	14	2	0	1	1	608-613
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)								
10.1016/j.pbi.2011.07.001								

著 者 名	論 文 標 題									
Ikeda, Y.	HMG domain containing SSRP1 is required for DNA demethylation and genomic imprinting in <i>Arabidopsis</i>									
雑 誌 名	査読の有無	巻	発 行 年				最初と最後の頁			
Developmental Cell	有	21	2	0	1	1	589-596			
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）										
10.1016/j.devcel. 2011.08.013										

著 者 名	論 文 標 題									
Iwano, M.	Self/non-self discrimination in angiosperm self-incompatibility									
雑 誌 名	査読の有無	巻	発 行 年			最初と最後の頁				
Current Opinion in Plant Biology	有	15	2	0	1	2	78-83			
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)										
10.1016/j.pbi.2011.09.003										

著 者 名	論 文 標 題						
Shiba, H.	Epigenetic regulation of monoallelic gene expression						
雑 誌 名	査読の有無	巻	発 行 年				最初と最後の頁
Development, Growth and Differentiation	有	54	2	0	1	2	120-128
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)							
10.1111/j.1440-169X.2011.01317.x							

著 者 名	論 文 標 題						
樽谷芳明	優性遺伝子が劣性遺伝子に勝つ新たな仕組み						
雑 誌 名	査読の有無	巻	発 行 年				最初と最後の頁
化学と生物	無	49	2	0	1	1	678-682
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)							
—							

〔学会発表〕計 (4) 件 うち招待講演 計 (4) 件

発 表 者 名	発 表 標 題	
柴 博史	エピゲノムを介した自家不和合性対立遺伝子間の優劣性発現制御	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第83回日本遺伝学会（招待講演）	2011年9月22日	京都大学（京都）

発 表 者 名	発 表 標 題	
Kubo, K.	Collaborative non-self recognition system in S-RNase-based self-incompatibility	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
8th Solanaceae and 2nd Cucurbitaceae Joint Conference (SOL & ICuGI 2011)（招待講演）	2011年11月29日	神戸国際会議場（兵庫）

発 表 者 名	発 表 標 題	
Shiba, H.	Epigenetic regulation of dominance relationships in <i>Brassica</i> self-incompatibility alleles	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第 34 回日本分子生物学会（招待講演）	2011年12月13日	パシフィコ横浜（神奈川）

発 表 者 名	発 表 標 題	
Takayama, S.	Noncoding RNA and epigenetics in self, non-self recognition in fertilization	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Keystone Symposium "Nuclear Events in Plant Gene Expression and Signaling"（招待講演）	2012年3月10日	Sagebrush Inn (Taos, USA)

〔図 書〕計 (0) 件

著 者 名	出 版 社			
書 名				総ページ数

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出 願〕計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

【取得】 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

http://bsw3.naist.jp/takayama/ http://www.ige.tohoku.ac.jp/prg/genetics/
--